

2.4. 南高安中学校区 八尾市の未来を語るタウンミーティング（開催日時：平成21年2月25日）での意見への対応状況

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>① 市民活動の会場確保等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1時間30分ほど体操をしているが、高齢者が笑顔で過ごせるように、会場を確保してほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の方が元気で学んだり楽しむ場が必要ということですが、コミュニティセンターも小学校区単位の集会所も整備にかかっていますので、歌体操等も楽しめるように、これからも場所づくりに取り組みたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民が相互に交流を深め自主的な活動を深めることを目的として、10箇所にコミュニティセンターを設置しています。 ○ 地域コミュニティの醸成や地域安全等の様々な地域活動の推進を図ることを目的として、概ね小学校区単位の校区集会所の整備に取り組んでおり、自治活動の拠点整備の推進と活発な市民活動の促進を図り、市民福祉の向上・発展に寄与することを目的として自治会等が実施する地区集会所の整備につきましては、補助金を交付し、支援しております。
<p>② 八尾市の情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 八尾に来たらこれがある、という核を作って欲しいです。「若ごぼう」・「枝豆」などがあります。 ○ 大東市で「大東検定」を行ったと聞きました。まちの活性化の為、「八尾検定」をやってみてはどうでしょうか。河内音頭だけではなく、ゆるキャラもつくってみてはいかがでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八尾には核が無い、という話でしたが、「枝豆」、「若ごぼう」を大阪府の橋下知事と共に発信したところ。八尾にはものづくりも歴史文化もあります。まちづくりも、ものづくりも発信して行きたいです。 ○ 「八尾検定」については、「八尾学」とかいろいろ提案を頂いています。市のホームページを4月から全面改訂するので、八尾の歴史文化や名所も載せて発信していきたいです。「八尾検定」は、すぐにはできなくとも、検討したいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八尾には、ご意見のように、「若ごぼう」や「枝豆」といった農産物、日本有数のものづくりのまち、文化・歴史もありますので、これらの魅力をうまく情報発信していける様に検討していきたいと考えています。

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>③ 水道料金について</p> <p>○ 大阪府と八尾市が水道の広域化ということで、府下一律化に取り組んでいると聞きました。問題もあるのではないかと心配です。</p>	<p>(野村水道事業管理者)</p> <p>○ 本市は大阪府から100%購入し、88円で仕入れています。現状では大阪市は府よりも15円安いですが、府下統一額でお願いしたいところです。近い将来、府の値段は下がる見込みです。本市の料金は府下で比べると20ℓ以下は割安で、50ℓ以上は割高です。料金体系には見直しも検討していきたいです。</p> <p>(田中市長)</p> <p>○ 端的に言いますと、府・市で協議していますが、八尾市は府下全域で安くなるように働きかけています。大阪府が安いのは、昔からの水利権があるためです。</p>	<p>○ 現在、大阪府内の全市町村(42団体)が程度の差はあっても大阪府から水を購入しており、大阪府は水の「卸売り」、各市町村は「小売り」の関係にあります。一方、大阪府は大阪府や各市町村とは全く別に独自に水を製造し、大阪市内のお客さまにのみ直接小売りを行っている、言わば全く別の「製造直販会社」とみることができます。</p> <p>○ こうした構図を背景としつつ、昨年度から現在に至るまで、途中、第三者の検証委員会による検証が加えられながら、大阪府と大阪市の水道事業同士の統合に関する協議が続けられているものです。</p> <p>○ 大阪府から100%水を購入している八尾市としましては、①今後とも長期にわたり、安全で安心な水を安定的に供給できる②水道料金が確実に下がる ③災害発生時にも対処できる防災復旧体制がハード・ソフト面ともに確保されている ことを最重要視しており、今後ともこれらの観点から判断してまいりたいと考えております。</p>
<p>④ 地域独自の取り組みについて</p> <p>○ この地域では、30年来の地域住民の健診制度があります。法改正もありました</p>	<p>○ 健康づくりで、この地域の取り組みには感謝しています。健診制度は縦割り制度に変わり弊害もあります。</p>	<p>○ 平成20年4月より医療保険者への特定健康診査等が義務付けられました。平成24年度の特定健</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>が、平成20年度も実施し1,815名が受診できました。市全体で、40歳以上の対象者は何人いるのですか。また、特定検診の受診割合が少ないと、ペナルティがあるのでしょうか。</p> <p>○ 総合計画の策定に市民として関わりましたが、ラウンドテーブルという考え方が導入され、また頑張った地域にはお金も来ました。この地域独自の健康診断制度の取り組みを発信していきたいです。</p>	<p>健康づくりは、地域全体で取り組めた方がいい、と私は考えています。本市の40歳以上の人口は約14万人で、南高安の実績の1,815名は約1.2%にあたり、かなりよい数字だと思っています。ペナルティは手元に資料がないですが、5年後の受診割合の数字で判断されます。</p> <p>○ 地域で取り組みたいことがあれば、どんどん声を上げて頂きたいです。市民活動支援基金のご活用も考えてください。また、総合計画に地域別計画を導入しますが、頑張る地域との差が出てくることもあると思います。</p>	<p>康診査等の成果によって医療保険者の後期高齢者支援金が±10%の額で調整される予定です。八尾市では八尾市国民健康保険特定健康診査等実施計画を策定し、目標年度である平成24年度に向け受診率等の向上のため様々な対策を行っております。</p> <p>○ 南高安地区健診は昭和40年に始まり現大阪府立健康科学センター・南高安地区成人病予防会・八尾市医師会等と連携・協力して始まった地区健康診査です。長年にわたる南高安地区成人病予防会の活動は南高安地区健康診査を核として健康をテーマに地区コミュニティを形成されました。その成果は公衆衛生学にも大きく貢献されてまいりました。八尾市は地区コミュニティ活動の更なる推進のため、平成20年度の医療制度改革後も引き続き、保険種別に関係のない集団方式の健康診査を実施しております。</p>
<p>⑤ 国民健康保険料について</p> <p>○ 低所得者減免をやめ、値上げもするの聞きましたので、反対したいと思います。</p>	<p>○ 市独自の減免は、2万3千人程度の対象者がいるのに、減免制度をご存知の7,000人程度の方だけが利益を受けていたため、公平公正という観点で廃止しました。その分、全体の保険料を下げています。また、本市の国民健康保険料は、中部8市の中では一番安い額</p>	<p>○ 国保料の算定自体、加入者の人数とその合計所得に応じて行われ、一定の基準以下の場合には自動的に軽減されるなど、その世帯の負担能力によって決定される仕組みになっていますので、減免制度については、災害、失業、減収など特に必要があ</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
	<p>ですが、実感として、国民健康保険料そのものが高くと考えますので、国にも働きかけを行っています。</p>	<p>ると認める場合に限りできるよう、平成20年度から基準を改めたところです。ただし、加入者全体の国保料負担を軽減するため、一般財源からの繰入は継続し、保険料の減額に努めておりますので、ご理解の程お願いします。</p>
<p>⑥(1) 道路整備、まちなみについて(道路)</p> <p>○ 南高安中学校区は東西の広い道がなく、唯一、南高安中学校の北側道路のみです。防災上の意味からも東西の道を整備して欲しいです。また、南北には外環状線がありますが、旧街道については狭い道路です。以前、「恩智川フォーラム」でも検討したことがありますが、1～2m幅の暗渠を付けて、八尾翠翔高校のところから堤防も合わせて7mくらいの道が考えられるのではないかと考えます。</p>	<p>○ 新たな道は厳しいので、今ある道を広げることは考えます。道路計画の中で、100年の計で考えたいと思います。また、暗渠のご提案がありましたが、川というのは、景観上も生物多様性の上でも大切であり、暗渠ではなく、堤防の中で考えたいところです。南北については、八尾と柏原で道を抜いていこうという話があります。楽音寺の東西の道の計画再開と併せて大阪府に要望しています。柏原市からも要望を上げてもらう予定です。</p>	<p>○ 校区内では、東西道路等で都市計画道路が計画されていますが、現時点では整備が困難な状況ですので、既存道路の拡幅について地域と一緒に考えていく必要があると考えます。ご意見の恩智川について、下流側より大阪府が改修整備を進めていますので、具体的になった時点で道路拡幅を検討したいと思います。</p>
<p>⑥(2) 道路整備、まちなみについて(まちなみ)</p> <p>○ 南高安中学校区は、古墳やまちなみもある、すばらしいまちだと思います。恩智神社からふとん太鼓が下りていくところにも素晴らしい町並みがあります。富</p>	<p>○ 八尾には八尾・萱振・久宝寺という寺内町が3つあります。恩智地域がまちなみ保存地域になるかについては、地域の皆様の合意で地区協定を作って、2階以上を作らないなどがあります。市としても考えますが、</p>	<p>○ 貴重なまちなみを保存することは重要であると思っています。まちなみ保存には、地域住民自らがまちづくりのルールを定める地区計画等の活用を支援していきたいと考えています。したがいまし</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>田林の保全の話が府で出ているようですが、このまちなみを残すことはできないでしょうか。</p>	<p>地域の皆様の中でも考えて下さい。</p>	<p>て、まちなみ保存にあたり、地元において十分に意見交換をしていただくとともに、合意形成を図っていただきたいと考えています。</p>
<p>⑦(1) 子育て支援活動について(集会所) ○ 子育て支援活動で、幼稚園に行く前の子どもへの「モンテッソーリ教育」の活動を行っています。三和地区集会所を使いたいのですが、なかなか進展しないので、この場を借りて、お願いします。</p>	<p>○ 三和分園は、幼稚園を廃止する時に、地域の皆様に活用の仕方を考えてもらうことになっていました。16町会で協定を結んで、あり方について考えてもらっているところです。管理協定もルールがあると思いますので、地域の中で、まず検討をしてもらってください。</p>	<p>○ 三和集会所につきましては、長い間、閉鎖しておりましたが、管理運営していただける町会との協議が整い、本年4月1日より利用いただけることとなりました。 なお、利用に際しては、管理運営規則に則り、管理者が窓口となり貸し出しを行いますので、よろしく願いいたします。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>⑦(2) 子育て支援活動について(つどいの広場関係)</p> <p>○ 八尾市には、自主的サークルもありますし、私も「はとぼっぼ南高安」という子育てひろばの活動をしています。八尾市は、中学校区にひとつの「つどいの広場」の設置をめざし、市から家賃補助も出ますが、その活動場所は、立ち上げる方が自分達で探さねばなりません。公的施設を活用した活動支援をしてもらった方がいいのではないかと思います。また、地域性もある中で、中学校区に一律に必要なのかも疑問に思います。10年活動していますが、跡を継いでくださる方が出てこないこともあり、八尾市は、一部の人間に頼り過ぎなのではないか、と思います。</p>	<p>○ 八尾市で作ってきた「つどいの広場」の仕組みは、どんどん拡げていきたいと考えています。それには、八尾市のコミュニティを守る拠点が足りないのかと思います。小学校区単位の集会所を、全ての小学校区に作る事が大切と考えています。小学校区・中学校区の話も出ましたが、今、校区の適正規模のあり方について検討しており、平成22年8月に結論を出していきたいと考えています。児童福祉審議会も、この4月から再開し、就学前の子ども達への指針づくりも行いたいと考えています。教育は、人であると思いますが、市の職員数も減っております。その中で、国の2次補正予算における、3年間の人的配置の財源もありますので、この3年間で、人的にも施策を考えていきたいです。</p>	<p>○ 「つどいの広場」につきましては、乳幼児を育てている保護者等が、安心して子育てできる環境をつくるには、身近な地域ごとに、気軽に集い、交流し、育児相談等を行う場を設ける必要があることから、現在のところ、中学校区に1つの設置を目標としています。活動場所についてですが、今後は公共施設等の活用も視野に入れる必要があると認識しておりますが、現時点では、民間活力の活用という面から、物件の確保も設置運営団体に委ねているところです。</p> <p>○ 今年度の市政運営方針に「安心して子どもを生み育てることができる環境づくり」を重点取り組みとして掲げております。そのため、今年度に児童福祉審議会を開催し、在宅で子育て支援している家庭も含めた就学前児童を中心とする支援や施策について検討いただき、子育てがしやすい環境づくりに努めてまいります。</p> <p>○ 小・中学校については平成20年に「小中学校適正規模等審議会」を立ち上げ、今後の児童生徒数の推移や傾向、課題等を含めて検討を進めているところです。審議会ではよりよい教育環境を整備し、充実した学校教育を実現するために、市立小・中学校の学校規模等の適正化についての基本的な考え方、および適正化の方策等について提言を行う予定です。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>⑧「市民の森」について</p> <p>○ 「市民の森」についてですが、あの現状では、「市民の森」とは呼べない施設ではないかと思えます。</p>	<p>○ 私も現場を視察し、問題は認識しているところです。本当に「市民の森」として親しんでもらえるように、整備を考えていきたいです。1、2年では花は咲かないかもしれませんが、3年くらいの長い目で見て欲しいと思います。地域の皆様にも、ご協力をお願いします。</p>	<p>○ 市民の森については、平成12年から14年まで広く市民に記念植樹を募集し、117本の市民の記念樹木を植樹していただいております。その後も、様々な市内団体等からの樹木の寄贈等により、春には桜の美しい山ろく部にある公園となっております。ただ、敷地面積が広いことと山間にあるために起伏があることから、草が成長する時期には、雑草が多く見受けられ、記念植樹をいただいた皆様のご協力により、市民の森の清掃ボランティア活動を行っております。今後も市民の森にふさわしいイベントを実施しながら維持管理に努めてまいりたいと考えております。</p>
<p>⑨ 小学校の耐震化の状況について</p> <p>○ 耐震化についてですが、南高安小学校はどうでしょうか？</p>	<p>○ 南高安小学校の北側校舎については、耐震診断を今年度行い、西側校舎については、平成21年4月以降に行う予定になっています。また、平成22年度末までには、本市の耐震診断を全て終わらせ、27年度末までに耐震化を終わらせることを目標にしています。全てで250億円程度かかる事業ですが、頑張っていきたいです。</p>	<p>○ 南高安小学校を含めた学校全体の耐震化につきまして、校舎及び体育館全体の耐震診断を平成22年度完了予定であり、耐震診断の結果及び八尾市耐震改修促進計画に基づき、関係各課と連携のうえ、早期実施に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、南高安小学校体育館は、新耐震基準を満たしております。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>⑩ 雨天時の道路の冠水について</p> <p>○ 外環状線が恩智川と交差していますが、ペコペコに下がっているところがあり、雨天時には水が浸かります。高安西小学校のあたり、教興寺の交差点のところです。</p>	<p>○ これには下水道の問題もあります。南高安中学校校区は水洗化率20%程度ですが、計画的に進めていきます。下水道整備の中で治水対策がありますが、比較的八尾の治水対策は進んでおり、現在も新家町にも新しい調節池を作り、完成するところです。他にも、八尾木から農協に向かう川の下にも貯水槽の整備を大阪府に要望しています。そういった対策によって、局地的豪雨、いわゆるゲリラ豪雨対策を進めたいと考えています。</p>	<p>○ 外環状線は大阪府の管理となりますので、道路排水施設に問題はないか、大阪府へ検討を依頼したいと考えております。</p> <p>また、下水道整備については、大阪府と協議し、順次進めていきたいと考えております。</p>